

## 『お誘い』

作：渋谷悠　　原案：岬万泰

(酔った女、男と一緒に裏道にいる)

みんな帰っちゃったねえ、高橋くん。なんか気使ったのかな…。  
佐藤のやつ、二次会は二人でやれば？って。ニヤニヤしながら、きつない歯見せて。ね、変だよ、うちらもう付き合ってるわけでもなんでもないのに。  
…まあでもね、え、これ言っちゃう？言っちゃうよ？あたし、未だに付き合う男あなたと比べちゃうんだあ。…その感じがバレたのかな、佐藤たちに。

あの頃のあたしはさあ、もう言っちゃうよ？酷かった。  
あなたを人として扱ってなかった。ダメって言わないから、この人どこまで許してくれんだろうって、なんか新しいオモチャもらった感覚で付き合ってた。  
別れてから初めて、え、あたし好きかもしれないって気付いて、それからなんと、えーこれも言っちゃいます、6年！6年も引きずったの。面倒臭い女でしょう？  
…いや思ってるよ、思ってますよ。そりゃちっとはお酒の力を借りてるけれども。こう見えて、正真正銘の、心の底の底の底からの、わお15年越しの、ごめんなさい。

(笑ってしまう)

ダメだ、ダメなんだよあたし、ちゃんとするタイミングでちゃんとできないの。  
笑っちゃダメって言われた瞬間ゲラゲラ笑っちゃうし、非常ボタン押すなって言われたら押しちゃうし。押してみても、あこうなるんだ、やべ逃げなきゃってスタンスでここまで来ちゃったから。  
だからもう駅のトイレで「落書きしないでください」ってのも、さてさてどんな落書きしてやりましょう？ってなるわけよ。  
あれもダメ、これもダメ、ダメダメダメって…世界はね、高橋くん、禁止で出来てるんだよ。生きづらいたらありゃしない。いっそ死んだら楽だろうね～。

…死んじゃダメって。おいこら、ダメって言われたらやっちゃうって話の直後にそれ言います？あそっかじゃないよ。  
でもさでもさ、高橋くん。経験出来るなら一回死んでみたいって思わない？  
人間、深海に行けるし宇宙にだって行けるのに、なぜ一回死ねないのか。  
よくあるじゃん、意識不明だった人が言う「お花畑があった」あれほんとか？  
「三途の川の向こう岸でおばあちゃんが」ほんとか？  
偉そうなお坊さんがテレビで「死とはただの通過点であり」ってお前死んだことねえだろ！ね、思うよね！…え、じゃあ試しに死んでみる？

流石に一人じゃ怖いけど、高橋くんと一緒なら、まあ最悪戻って来れなくても？  
今みたいにバカ話してりゃいいわけでしょ、お花畑だか川の向こうだかで。

どう、やってみない？

(爆笑して) いい表情だね～！私が見てきた苦笑いの中でダントツ1位！  
…でもあれ？案外？断っては？来ないんだね？

え、ちょっとちょっと、やっちゃう？やっちゃう流れ？

だったらお任せあれ。多分普通の人より死の間際に行ったことあるから。死神さんとはわりかしバディ。小学校3年、4年ぐらいの時かな、こういう健康器具？  
母親が通販で買って以来触りもしなかったやつにね、カチューシャ付けて首吊ろうとしたことあるし、勿論なんも分かってないからカチューシャごと落ちて失敗したんだけどね。

あと、スキューバダイビングで死にそうになったこともあるよ。咳き込んでレギュレーターが外れてえらいパニックになって…でも浮上した時、わあ人間って凄いつて感じたの。だって空気があるだけで生きていけるんだよ！しばらく空気があることに感謝したの！

だからもし、今日、今夜、高橋くんと一緒にその先まで行けて、一回死ぬことが出来たなら、きっと素敵な体験になると思う。もっと今を大事にすると思う。  
あなたのことを、今度こそ、大事にすると思う。

だから、死んじゃダメって言って。

死んじゃダメって言って。死んじゃダメって、言って。